

ベタ事ガ第一ノ原因ヲナスト思フ、カ、ルガ故ニ吾等ハ其ノ失敗ヲ二度ト繰リ返サナイ様ニ各地ニ於テ眞實無産者ノ味方ニナル人物ノ養成ヲ忘レテハナラヌ。

昭和八年度本部報告

二月高田町本部事務所ヲ當麻村ニ移シ消極的運動ヲ開始シタ。
三月、四月、支部代會議ヲ生駒ニ開キ積極的再建運動ヲ協議シ常任ニ竹村ヲ推シ活動ヘノ一步ヲ踏ミ出シタ。
五月潰滅状態ニアツタ支部ヲ再建シツ、メーデーヲ王寺町ニ行ヒ二百五拾名ヲ動員シテ全農末ダ存在スルノ感ヲ支配階級及ビ農民諸君ニ知ラシメタ。尙町村議改選ニ當ツテ片桐ニ藤岡外四名、志都美ニ松原、當麻ニ駒井、龍田ニ松本、金橋ニ竹村、液上ニ河合ヲ立候補サセ、内五名ヲ當選セシメタ。
六月、七月、八月常任委員會ヲ開イテ本部ヲ金橋村ニ移シタ、其他二三ノ爭議ノ指導ニ終ツタ。

九月、十月秋ノ闘争ノレンタシテ各地ニハリ減免ノアジブヲ行ツタ。

十一月、十二月支部代會議ヲ開キ減免要求方針決定シ各地テ座談會ヲ開催シ尙大會準備闘争ヲ行ツタ。

八年度ニ於ケル争議ハ上牧、上中、彌屋等ハ解決シ片桐ニ一件未解決テアルガ之ハ立手差押ヲ大衆動員ヲ解除セシメ現在交渉戦ニ入テキル個人ニ對スル貢米ノ未納ノ請求ハ各支部ニアルガ大衆化シテキナイ。

八年度ニ於ケル若干ノ批判

人ト金トノ不足ガ第一ニ舉ゲル事ガ出來得ル、之ヲアラユル機會ニ其欠陥ヲ曝露シテキルト同時ニ組合活動ヲ實質的ニ放棄シツ、モ對外的ニ活動シテ居ル如ク謂ヒフラスツ、アル分子ニ依ツテカナリ組合ノ信用ヲ失墜セシメラレテ居ル事實ヲ見ル今后カ、ル分子ニ對シテ積極的ニ其ノ非ヲ曝露シ、イワユル事件屋的運動家ハ放逐セホベ